

# 乾燥BCGワクチンの懸濁方法

使用方法の詳細は、添付文書をご参照ください。

1

## BCGアンプルの確認

- ・アンプル内の乾燥BCGワクチンの乾燥状態を確認。
- ・通常の乾燥体は、直径7mmほどの円盤状。
- ・万一吸湿している場合は、使用しない。

2

## BCGアンプルにキズをつける

アンプル頸部全周にアンプルカットでキズをつける。



3

## キズの部分をアルコール綿で清拭し、十分に乾燥させる

乾燥が不十分だとアルコールが混入し、均一な懸濁液ができなくなる。  
(裏面「懸濁できない場合」参照)



4

## BCGアンプルを開口する

- (1) 添付の黒ポリ袋でアンプル全体を包む。



- (2) 黒ポリ袋をねじって、中の空気を追い出す。



- (3) キズをつけた部分から、アンプルを折る。



5

## 懸濁用生理食塩液アンプルを開口する

- (1) アンプルを軽く振り、上に残っている溶液を下に落とし、頸の部分をアルコール綿で清拭し、十分乾燥させる。
- (2) カットマークを上にして、正しく反対側に折って開口する。



6

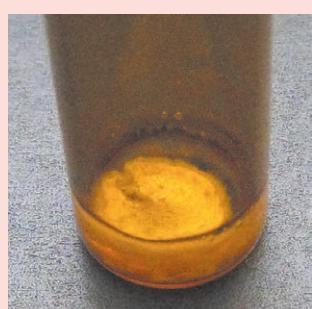
## 添付のスポットで生理食塩液を全量吸い上げ、内壁に沿ってゆっくりと注入

注射器は絶対に使用しないこと。



2~3分間静置する。

乾燥体が崩れていったり、生理食塩液を勢いよく注入したりした場合は静置時間を延長する。  
(裏面「懸濁しづらくなる場合」参照)



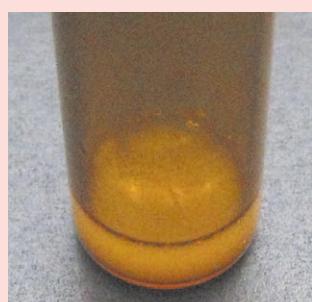
7

## 均等に十分湿らせた後、静かにアンプルを振る

8

## 懸濁液の完成

80mg/mLの濃度のワクチンが得られる。



# 懸濁しづらくなる場合

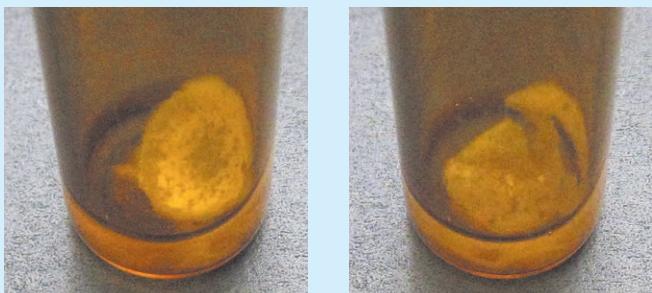
## ■乾燥体が崩れている

生理食塩液が染み込むのに時間がかかる。

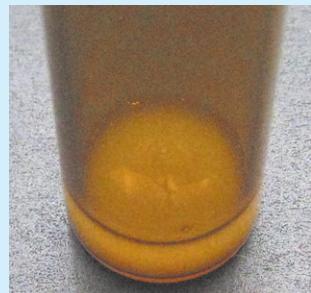


## ■勢いよく生理食塩液を注入

管壁に乾燥体が付着してしまう可能性がある。



静置時間を延長すれば  
いずれも懸濁すること  
ができる。  
(品質に問題はない。)



## アルコール清拭後の乾燥の目安



キズを付けた直後 清拭直後 乾燥後  
・清拭直後はアルコールでキズが見えにくくなる。  
・乾燥すると白いキズが見えるようになる。

製造販売元



日本ビーシージー製造株式会社  
〒204-0022 東京都清瀬市松山三丁目1番5号

問い合わせ先 カスタマーセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚一丁目5番21号  
TEL03-5395-5590

# 懸濁できない場合

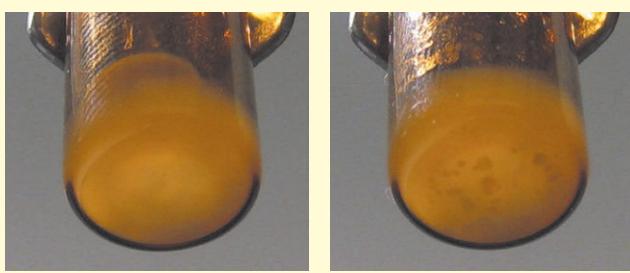
## ■ごく微量でもアルコールがBCGアンプル内 に混入し、乾燥体に付着した場合

アルコールが付着した乾燥体を懸濁させると、粒状になったBCGが管壁に残る。



正常 アルコール付着

アルコールが付着した場合、底面からも粒状になったBCGが確認できる。



正常 アルコール付着

## ■アルコールが乾燥する前に開口した場合

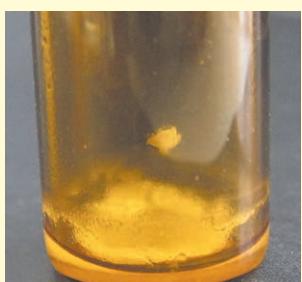
清拭後、乾燥する前にBCG  
アンプルを開口した場合、ア  
ルコールがアンプル内に引  
き込まれる。



アルコール混入

## ■アルコール綿を巻きつけて開口した場合

しっかりと絞ったアルコール  
綿であっても、巻きつけた  
状態でBCGアンプルを開  
口すると、アルコールがアン  
プル内に混入する。



アルコール混入